JAERA NEWS LETTER vol.211

一般社団法人日本自動車リサイクル機構
ニュースレター 2026年 11月号



連　載

自動車リサイクル業界を担うホープ(31)

名前：島野 彩(しまの　あや)(35歳)
所属：株式会社エイ・ティ・エム
（福岡県京都郡苅田町）
部署：生産部
特技：整理整頓
MBTI：提唱者型（人の気持ちに寄り添い、深い洞察力と豊かな想像力で、相手を思いやりながら信念を持って行動できる）

― 仕事で誰にも負けない部分
コツコツ慎重に作業すること

― この業界の魅力を一言で
廃棄される車に新しい価値を見出し、更に地球や環境にも優しいこと。

― 将来の業界への期待
中古部品の認知度を高め、使用してもらうことにより CO_2 削減などの環境保全に繋げて欲しいです。

※MBTIとは認識・決定理由・処理方法など16タイプの性格に当てはめるテストで、キャリアの適性判断、チームワークの強化、最近ではアイドルのプロフィールなど様々な分野で利用されています。

INDEX

【連載】自動車リサイクル業界を担うホープ / 巻頭言――― P.1
JAERA 共同出荷事業（3事業）ご案内 ――― P.2
第 25 回業界景況調査結果 ――― P.3
JAERA 活動報告 / 自工会と自再協が「3 R推進功労者等表彰」にて内閣総理大臣賞を受賞――― P.4
9月新車販売台数・使用済自動車発生台数・輸出返還台数 ――― P.5
鉄スクラップ最新情報 ――― P.6
活動予定・お知らせ / 編集後記 ――― P.7
【広告】いその株式会社 ――― P.8

巻頭言

広報部会
小森 雄太

街路樹が鮮やかに色づき、行く秋の惜しまれる季節となりました。気がつけば今年も残り2ヶ月です。さて、秋といえば「食欲の秋」。最近の私は、県内で旬のグルメを堪能する日々に心躍らせています。

私の地元、茨城県は言わずと知れた食材の宝庫です。今の時期なら、甘みの強い常陸秋そばや、ホクホクとした笠間の栗など、美味しい大地の恵みが溢れており、改めて地域の魅力を実感しています。こうした豊かな実りは、農家の方々の丹精込めた日々の積み重ねの成果です。

私たちの仕事も同様に、毎日の努力がやがて大きな成果へと結びつきます。これから寒さが増しますが、美味しい旬の味覚でエネルギーを満たし、実り多き年末に向けて一歩ずつ前進していきましょう。

2026.11.01発行

02 JAERA 共同出荷事業（3 事業）をあらためてご案内

1 社では集まりにくい資源も、JAERA ネットワークで有利な売却と資源循環へ

JAERA では、会員企業の皆さまを対象に、使用済自動車由来資源の有効活用を目的とした共同出荷事業を、3 品目実施しています。解体事業者で回収する対象物の中には、個社では量がまとまりにくく、単独では売却条件が限られやすいものがあります。

JAERA の共同出荷事業では、こうした対象物を JAERA 会員企業のネットワークで集約し、まとめて出荷することで、市場価格よりも有利な条件での売却につなげやすくなることが大きなメリットです。また、使用済自動車由来資源の有効活用を進めることで、資源循環の推進にもつながります。

現在実施している共同出荷事業は、次の 3 事業です。

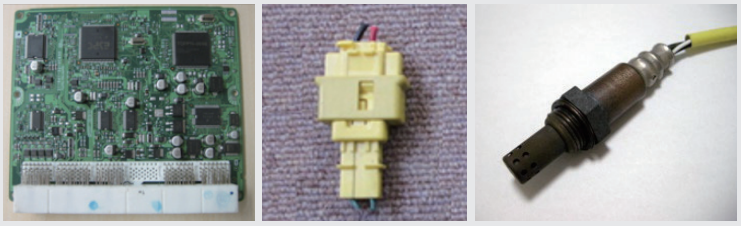
1、貴金属類の共同出荷事業

協力企業：アサヒプリテック株式会社

コンピューター基板、エアバッグカプラー、O2 センサー・A/F センサーを対象とした事業です。

これらは、各社では一度に大量にまとまりにくい一方で、適切に回収・分別することで高い資源価値を持つ品目です。共同出荷により、こうした対象物を効率よくまとめて出荷することができます。

毎年 2 回（7 月、1〜2 月）の巡回集荷で実施しており、各社の回収状況を踏まえて出荷判断ができる仕組みとなっています。



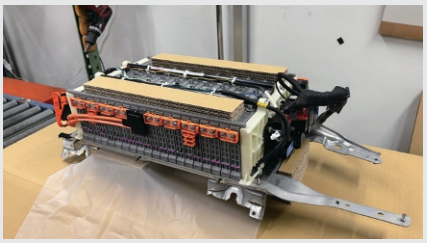
【左から CP 基板、AB カプラー、O2 センサー】

2、駆動用 HV バッテリーの共同出荷事業

協力企業：株式会社アーネスト

対象車種・対象品番のニッケル水素 HV バッテリーを共同出荷する事業です。ハイブリッド車に搭載されているニッケル水素電池を、リビルトバッテリーのコア部品として有効活用するもので、発生品の適切な出荷先確保にもつながります。

バッテリー発生時に都度、集荷依頼ができるため、保管を長引かせず、発生に応じて活用しやすい点も特長です。なお、対象はニッケル水素 HV バッテリーであり、リチウムイオン電池は対象外です。



【リビルトしたバッテリー】

3、ワイヤーハーネス共同出荷事業

協力企業：JX 金属グループ

使用済自動車由来のワイヤーハーネスを対象とした事業です。

自動車由来の銅資源を国内で循環させ、Car to Car リサイクルにつなげる取り組みであり、資源循環の観点からも意義の大きい事業です。また、本事業ではワイヤーハーネスに付く被覆材についても、受入工場側で適正な破砕・焼却処理が行われるスキームとなっており、被覆の適正処理が担保される点も特長です。

回収拠点を活用する方法と単独で参加する方法があり、必要量がまとまった段階で出荷依頼が可能なため、事業規模に応じて参加しやすい仕組みとなっています。



【回収したワイヤーハーネス】

これらの事業は、いずれも JAERA 会員企業限定です。「対象物はあるが、個社では出しにくい」「共同出荷の仕組みを活用したい」という会員企業の皆さまは、ぜひ積極的にご活用ください。

各事業の説明資料やガイドラインをご希望の方は、JAERA 事務局までお問い合わせください。

03 ▸ 第25回　景況調査報告　2026年7～9月期

集計：長崎大学 経済学部　教授　木村眞実

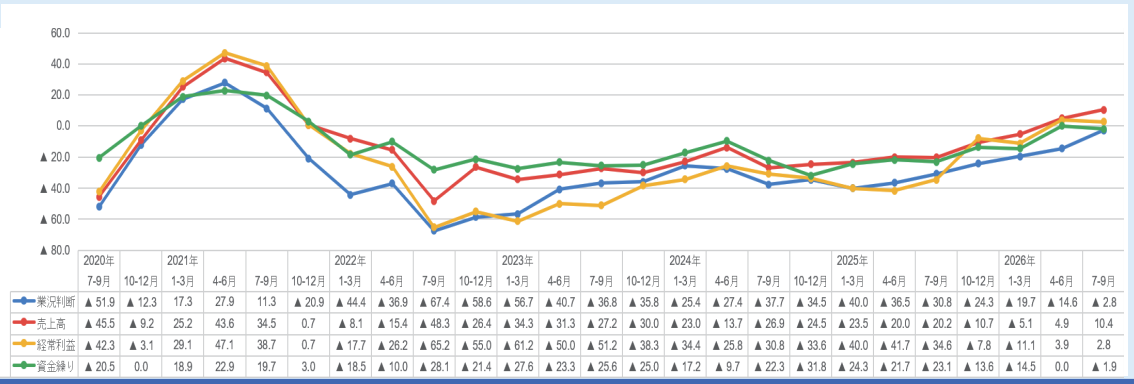
業況判断と売上高は改善も、経常利益・資金繰りは悪化。

【調 査 要 領】
①調査期間：2026年9月17日（木）～ 9月30日（水）
②対象企業：日本自動車リサイクル機構会員企業
③調査の方法：FAX・Webの送受信による自計記入を求めた。
④回答企業数：423社のうち106社（25.1%）から回答を得た（うち、有効回答数106）
⑤平均従業員数：役員を含む正規従業員数　37.1人（前回31.9人）
派遣社員・臨時・パート・アルバイトの数　8.2人（前回7.1人）
※DI値（DI : Diffusion Index）「良い」と答えた割合から「悪い」と答えた割合を引いたもの　※：本文中の「△」はマイナスを意味する。

今回の調査結果についての詳細や解説などは、以下の「報告書版」からご覧ください。

報告書版はこちら　https://www.elv.or.jp/media/20/20261027-keikyo25kekka.pdf

図では第１回景況調査（2020 年 7-9 月期）から第 25 回景況調査（2026 年 7-9 月期）までの、前年同期比の DI 値の推移を示す。前回の第 24 回調査（2026 年 4-6 月期）と比べると、業況判断は 11.7 ポイント改善、売上高は 5.5 ポイント改善したが、経常利益は 1.1 ポイント悪化、資金繰りは 1.9 ポイント悪化であった。



	2020年 7-9月	10-12月	2021年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2022年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2023年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2024年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2025年 1-3月	4-6月	7-9月	10-12月	2026年 1-3月	4-6月	7-9月
業況判断	▲ 51.9	▲ 12.3	17.3	27.9	11.3	▲ 20.9	▲ 44.4	▲ 36.9	▲ 67.4	▲ 58.6	▲ 56.7	▲ 40.7	▲ 36.8	▲ 35.8	▲ 25.4	▲ 27.4	▲ 37.7	▲ 34.5	▲ 40.0	▲ 36.5	▲ 30.8	▲ 24.3	▲ 19.7	▲ 14.6	▲ 2.8
売上高	▲ 45.5	▲ 9.2	25.2	43.6	34.5	0.7	▲ 8.1	▲ 15.4	▲ 48.3	▲ 26.4	▲ 34.3	▲ 31.3	▲ 27.2	▲ 30.0	▲ 23.0	▲ 13.7	▲ 26.9	▲ 24.5	▲ 23.5	▲ 20.0	▲ 20.2	▲ 10.7	▲ 5.1	4.9	10.4
経常利益	▲ 42.3	▲ 3.1	29.1	47.1	38.7	0.7	▲ 17.7	▲ 26.2	▲ 65.2	▲ 55.0	▲ 61.2	▲ 50.0	▲ 51.2	▲ 38.3	▲ 34.4	▲ 25.8	▲ 30.8	▲ 33.6	▲ 40.0	▲ 41.7	▲ 34.6	▲ 7.8	▲ 11.1	3.9	2.8
資金繰り	▲ 20.5	0.0	18.9	22.9	19.7	3.0	▲ 18.5	▲ 10.0	▲ 28.1	▲ 21.4	▲ 27.6	▲ 23.3	▲ 25.6	▲ 25.0	▲ 17.2	▲ 9.7	▲ 22.3	▲ 31.8	▲ 24.3	▲ 21.7	▲ 23.1	▲ 13.6	▲ 14.5	0.0	▲ 1.9

図　前年同期比でのDI値の推移

以下の表では、2026 年７～９月期の、業況判断、売上高、経常利益、および資金繰りの動向を、前期比、前年同期比、次期見通しで示す。

表　業況判断、売上高、経常利益、運転資金調達の動向

	前期比(2026年4～6月と比べて)				前年同期比(2025年7～9月と比べて)				次期見通し(2025年10～12月と比べて)			
業況判断	好転	横ばい	悪化	DI値	好転	横ばい	悪化	DI値	好転	横ばい	悪化	DI値
	12.26%	62.26%	25.47%	-13.2　(-15.5)	22.6%	51.9%	25.5%	-2.8　(-14.6)	19.8%	52.8%	27.4%	-7.5　(-19.4)
売上高	好転	横ばい	悪化	DI値	好転	横ばい	悪化	DI値	好転	横ばい	悪化	DI値
	18.87%	58.49%	22.64%	-3.8　(6.8)	33.0%	44.3%	22.6%	10.4　(4.9)	26.4%	50.9%	22.6%	3.8　(-9.7)
経常利益	好転	横ばい	悪化	DI値	好転	横ばい	悪化	DI値	好転	横ばい	悪化	DI値
	21.70%	50.00%	28.30%	-6.6　(1.9)	31.1%	40.6%	28.3%	2.8　(3.9)	26.4%	47.2%	26.4%	0.0　(-13.6)
資金繰り	容易になった	変わらない	厳しくなった	DI値	容易になった	変わらない	厳しくなった	DI値	容易になった	変わらない	厳しくなった	DI値
	8.5%	79.2%	12.3%	-3.8　(-1.0)	10.4%	77.4%	12.3%	-1.9　(0.0)	9.4%	74.5%	16.0%	-6.6　(-8.7)

注：　DI値欄のカッコ内の値は前回調査時のDI値である。
注：構成比は小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が 100%とならない場合がある。

■事務局より■

次回、第 26 回（2026 年 10～12 月期）の景況調査は、12 月 15 日（火）～12 月28 日（月）で予定しております。
皆様、引き続きご協力の程お願いいたします。

04 自工会と自再協が「３Ｒ推進功労者等表彰」にて内閣総理大臣賞を受賞

一般社団法人日本自動車工業会（自工会）と一般社団法人自動車再資源化協力機構（自再協）は、「次世代モビリティの3R促進に向けた社会基盤づくり」により、令和8年度「リデュース・リユース・リサイクル推進功労者等表彰」の内閣総理大臣賞を受賞しました。表彰式は2026年10月26日、KKRホテル東京で行われました。本年度の内閣総理大臣賞は１件でした。



自工会 松永副会長（左）自再協 嶋村理事

今回評価されたのは、電動化やモビリティの多様化に伴って将来顕在化する課題を先取りし、自動車メーカー、回収・運搬事業者、解体事業者、リサイクル事業者などが連携して、全国で実際に機能する資源循環の仕組みを構築してきた取組みです。

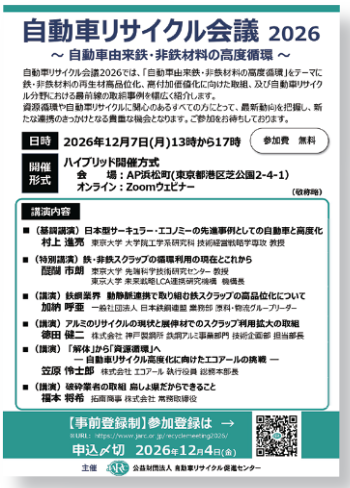
具体的には、使用済みリチウムイオンバッテリー（LiB）の共同回収・リサイクルシステムの取組み、そしてJAERAが協力して全国の優良な解体事業者を「次世代モビリティリサイクラー」として認定した電動キックボードや一人乗りモビリティなど、自動車リサイクル法の対象外となる車両の取組みも高く評価されました。

05 使用済自動車を“価値ある資源”へ！自動車リサイクル会議2026開催

テーマは「自動車由来鉄・非鉄材料の高度循環」

自動車リサイクル促進センター（JARC）主催の「自動車リサイクル会議2026」が開催されます。

今回のテーマは「自動車由来鉄・非鉄材料の高度循環」です。鉄・アルミ等の再生材の高品位化・高付加価値化が求められる中、解体業者にとっても、使用済自動車を「価値ある資源」として次工程へつなげる視点がますます重要になっています。当日は、鉄・非鉄スクラップの循環利用や業界の取組、自動車リサイクルの最新事例が紹介されます。また、解体業者からは栃木県足利市の株式会社エコアールが「『解体』から『資源循環』へ」をテーマに講演します。ぜひご参加ください。



開催日時：2026年12月7日（月）13:00～17:00（対面とWEBのハイブリッド開催）
参加費：無料　　テーマ：自動車由来鉄・非鉄材料の高度循環
申込先はこちら

06 業界のつながりを再確認―JTP定時総会懇親会に出席

日本トラックリファインパーツ協会（JTP）の定時総会懇親会が、10月16日（金）、東武ホテルレバント東京（東京都墨田区）にて開催されました。JAERA本部からは木内雅之副代表理事が出席し、来賓として挨拶を行いました。当日は、自動車リサイクル関連団体をはじめ、賛助会員・協力会員、報道関係者など、多くの業界関係者が一堂に会しました。日頃なかなか顔を合わせる機会の少ない方々とも名刺を交わしながら、各社・各団体の近況や業界を取り巻く課題、今後の展望などについて、活発な意見交換が行われ、トラック部品をはじめとする自動車リサイクル分野のつながりの広さと、関係者同士の結束を改めて感じる機会となりました。

JAERAとしても、引き続き関係団体との連携を深め、自動車リサイクル業界の健全な発展に向けて取り組んでまいります。



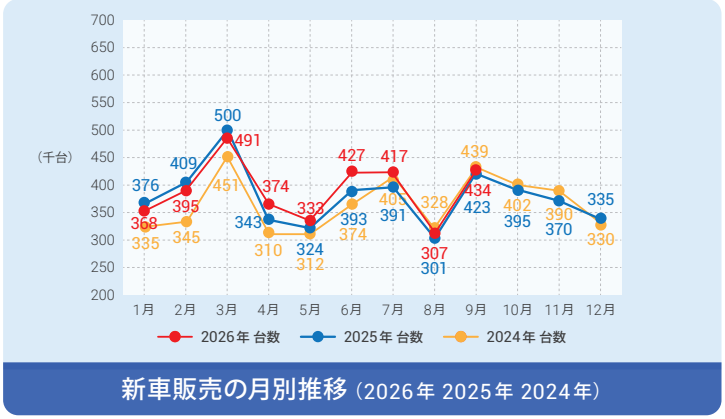
木内副代表が来賓挨拶

07 9月新車販売・使用済自動車発生台数・中古車輸出に係る返還台数

2026年9月の台数動向

― 新車販売・中古車輸出は堅調、使用済車は前月比増も前年割れが続く

■2026年9月度 新車販売台数　433,683台　（前年同月比101.3%）

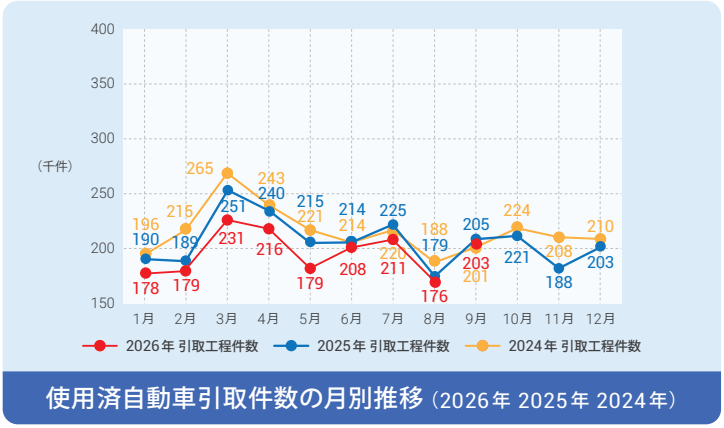


新車販売の月別推移（2026年 2025年 2024年）

過去の新車販売台数推移		
年累計	台 数（台）	前年比（%）
2026年（9月まで）	3,545,421	102.3
2025年	4,565,777	103.3
2024年	4,421,494	92.5
2023年	4,779,086	113.8
2022年	4,201,320	94.4

※出所：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会

■使用済自動車引取（電子マニフェスト）実施状況
2026年9月度 引取工程　202,830件（前年同月比98.9%）



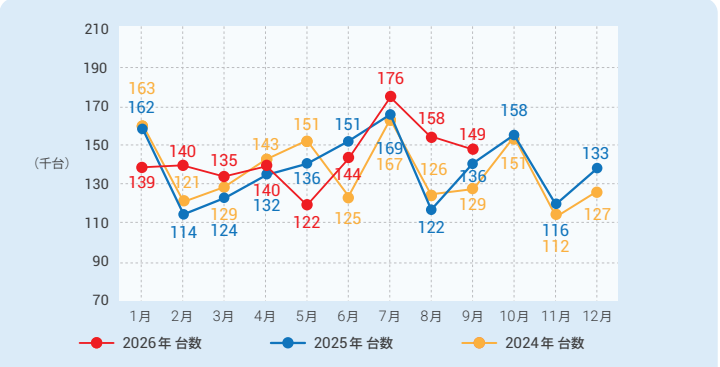
使用済自動車引取件数の月別推移（2026年 2025年 2024年）

過去の使用済自動車引取台数推移		
年累計	件 数（件）	前年比（%）
2026年（9月まで）	1,780,730	93.4
2025年	2,519,062	97.2
2024年	2,607,112	95.5
2023年	2,731,329	98.6
2022年	2,769,122	87.5

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

■中古車輸出に係る返還台数※
2026年9月度　149千台　（前年同月比109.6%）

※中古車の輸出に伴い、預託していたリサイクル料金を返還した台数



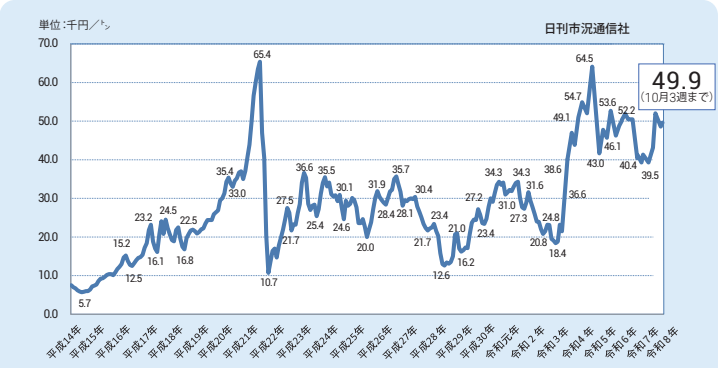
過去の中古車輸出に係る返還台数推移		
年累計	台 数（千台）	前年比（%）
2026年（9月まで）	1,303	104.3
2025年	1,656	100.7
2024年	1,644	111.0
2023年	1,481	115.7
2022年	1,281	95.5

※出所：公益財団法人 自動車リサイクル促進センター

08 ▸ 鉄スクラップ最新情報

［提供：日刊市況通信社］

10月第4週（22日）の鉄スクラップ動向



鉄スクラップ市況（5地区代納平均価格）の推移

10月22日の国内スクラップ炉前実勢価格（中心値）

		H2	気　配
関東	北関東	50,500 ～ 51,500	強含み
	南関東	50,500 ～ 51,500	強含み
	浜値	50,000 ～ 51,500	強含み
名古屋		51,500 ～ 52,500	強含み
関西	大阪	52,000 ～ 53,000	強含み
	姫路	52,500 ～ 53,500	強含み

海外の鉄スクラップ市場に停滞感 中東情勢および天候事情が影響

海外の鉄スクラップ市場は、各地で停滞感が広がっている。中東ではホルムズ海峡およびその周辺で船舶への攻撃が発生し、海運を取り巻く環境が悪化。これを受け、運賃および保険料が上昇しているだけでなく、船舶そのものの不足が生じている。このため、シッパーなど供給側は価格引き下げに抵抗しており、各地で需要家の希望価格と折り合いが付かず、商談が進まない状態が続いている。

またトルコでは、主要地区のイスタンブールで局地的な豪雨および洪水が発生し、取引はさらに減少。米国東海岸からのトルコ向けの成約は、9月25日付でイズミル地区のメーカーがHMS1&2（80：20）を1㌧当たりCFR404㌦で決めたものが最後。その後は欧州玉の値下がりなどを受け、米国玉HMS1&2（80：20）の実勢価格はCFR395㌦前後となり、直近ピークから10㌦程度下がっている。

ベトナムの輸入鉄スクラップ市場の取引も、引き続き低調だ。海外からの鉄スクラップ輸入価格が高いため、国内産のスクラップやアセアン域内産のビレットに原料をシフトする動きが見られる。日本産H2のオファーはCFR380～390㌦、ビッドはCFR375㌦が聞かれ、成約には至っていない。

関　東　荷動き鈍く相場は強含み

関東鉄スクラップ市況は強含みのまま推移している。北関東、南関東ともに市中スクラップの荷動きが鈍い中で、需要家は引き合いを強めたまま必要量の確保を図っている。活発な船積みが続く湾岸周辺ではメーカーやシッパーで高値対応もあり、一部電炉は建値での追加値上げを実施している。関東地区のH2炉前実勢価格は50,500～51,500円中心。H2浜値は50,000～51,500円中心で推移している。

東　海　なお堅調さ残し様子見商状

東海市場の鉄スクラップ市況は続伸後、なお堅調さを残し、様子見商状の推移を続けている。東海相場は9月下旬から1カ月にわたって続伸し、輸出商談価格に見合う水準に達した。このため上げ余地が少なくなっている。しかし、東海主要電炉生産が回復傾向を示し、鉄スクラップ需要量が増加している一方、市中の発生・荷動きが依然として低調なため、需給に引き締まり感が生じている。H2炉前実勢価格は51,500～52,500円中心。

大　阪　10月22日から一部上げ改定で強含みを維持

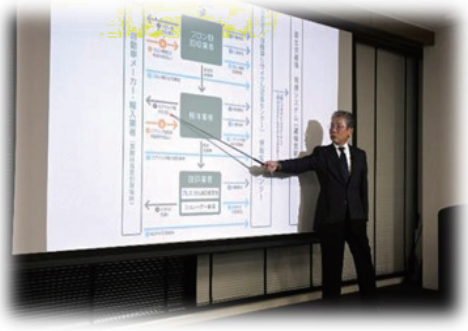
大阪地区の市況は大勢様子見も強含みを維持している。10月22日から一部で買値を引き上げてきたことが、荷動きを再び不明なものとしており、水面下含めて引き合い強化を迫られやすい展開となっている。大阪地区のH2炉前実勢価格は52,000～53,000円中心。また東京製鉄・九州工場と九州・山口地区の電炉が値上げ改定を実施。この動きを受け、これらの地区のH2実勢52,500円中心へと上向いた。

（※価格、数量等は日刊市況通信社調べ、10月22日午前時点のもの）

09 自動車リサイクル士制度認定更新講習会のお申込みはお済みですか？

2026 年度に資格有効期限を迎えられる方を対象とした「自動車リサイクル士制度認定更新講習会」の申込締切が近づいています。対象は、2026 年 10 月・11 月・12 月に資格有効期限を迎える自動車リサイクル士の方です。申込期間は 10 月 1 日（木）から 11 月 30 日（月）までで、締切日までに書類必着となります。講習会は、ご自宅や会社等の PC・タブレットで受講できるサテライト方式により、2027 年 2 月から 3 月にかけて全 4 回開催予定です。各回定員は 50 名で、申込書到着順に開催回が指定されます。

対象の皆様は、申込書への記入、受講料のお振込み、必要書類の郵送をお忘れなく、お早めにお手続きください。詳細は JAERA ホームページ掲載の案内をご確認ください。



編集後記



孫と一緒に暮らしていると、何気ない一言にはっとさせられることがあります。

先日「氷が溶けたら何になる？」と聞いてみたところ、常識的な答えを口にするのだろうと思っていたら「春」と答えたのです。

また、国語のテストで、「次のＡからＤの俳句の中から好きな俳句をひとつ選び、その理由を答えなさい」という問題があったそうです。孫の答えは「好きな俳句はＢ、理由は好きになるのに理由なんかない」でした。その答えに学校の先生も感心していたそうです。

さらにこんな話も。教室である児童が教科書を広げていたら、外から入ってきた風で教科書のページがすごい勢いでめくれたそうです。それを見た児童がこう言いました。「風さんは教科書を読むのが速いねー！」

「風が本を読む」―― 先生は常識に捉われない自由な発想に眩しさを覚えたそうです。風は目には見えないけれども、確かにその働きは存在しています。

日本自動車リサイクル機構の働きも風のように見えない力かもしれません。ただ見えないからといって無いわけじゃない。その「見えないもの」を感じながら、私達も自社の仕事に励むことができたら、素敵じゃないでしょうか。

広報部会長　田村　幸男

11 月の活動予定＆取組み

※急遽、日程変更・延期の場合がございます。

- 5日（木）| 第 7 回広報部会（WEB）
- 6日（金）| JTP 連携 トラック解体作業見学会 in 静岡
- 11日（水）| 東北ブロック会議・工場見学会（対面）
- 25日（水）| J-FAR 異常電池処理実証実験
- 30日（月）| 第 4 回ヤード検討会（対面・WEB）

編集・発行責任者
一般社団法人日本自動車リサイクル機構
広報部会長 田村 幸男

お問い合わせ先
一般社団法人日本自動車リサイクル機構　〒105-0003 東京都港区西新橋 1 丁目 11-3 虎ノ門アサヒビル 3 階
TEL：03-3519-5181　FAX：03-3597-5171　MAIL：jaera-homepage@elv.or.jp　HP：https://www.elv.or.jp

廃車由来再生プラスチックリサイクルループ

「Car to Car 実現へ」パートナー企業募集

今こそ地球に恩返し



お取引についてのご案内

対象素材

PP（ポリプロピレン）

※自動車部品（バンパーや各種内装等）、自動車以外のPP製品・スクラップも買取可能です！

ロット・引取方法

都度ご相談。
柔軟に対応します。

お問合せ先

ISONO
いその株式会社

いその株式会社
資源循環開発室

担当：朝妻（あさつま）

0587-32-8181

各拠点のご案内	本　社	稲沢事業所	東京営業所	長野営業所	九州事業所
	〒461-8630 愛知県名古屋市東区相生町55番地	〒492-8271 愛知県稲沢市石橋6丁目52番地	〒101-0043 東京都千代田区神田富山町6-2 松崎ビル4F	〒399-0744 長野県塩尻市大門1032-17 フレグランスステーション B102号室	〒808-0021 福岡県北九州市若松区響町一丁目102番地6
	052-931-1211	0587-32-8181（営業本部） 0587-32-1772（製造本部）	03-3258-8171	0263-54-5331	093-771-0253